

平成 22年2月

クラブインフォメーション

発行:鳥取県体育協会

TEL:0857-28-1288 FAX:0857-28-1399 E-mail:totforiken@japan-sports.or.jp

第9号

第5回鳥取県クラブマネジャー研修会を開催しました

平成22年1月16日(土)、伯耆しあわせの郷(倉吉市)において第5回鳥取県クラブマネジャー研修会を開催しました。

県内の15クラブ、地域のスポーツ関係者28名が参加し、講師に南木 恵一氏(株式会社メディアプロ スポーツ事業部)をお招きし、「施設の管理・運営」・「クラブで安全に活動するために」についてお話しをしていただきました。

研修会の内容として

《地域スポーツの現状の把握をする》

- ・スポーツ少年団に入れる種目数が男女で違う。
- ・小学校6年から中学校入学まで・中学校3年から高校入学まで・高校3年から大学入学までの隙間をうめるにはどうしたらいいのか。
- ・活動施設の確保。
- ・二極化現象。(スポーツする子、しない子)
※総合型地域スポーツクラブで、あらゆる年代の人がスポーツに親しんでもらえる環境を整備する。

《クラブで安全に活動するために》

- ・参加者自身が自己責任で参加することを理解してもらう。
- ・自分自身の技術や体力、その日の体調に見合った活動を心掛ける
- ・医療機関との連携
(地元の病院を押さえておくベスト)
- ・スポーツ安全保険への加入
- ・安全管理マニュアルの策定
- ・安全に対する意識の啓発や事故発生時の対応理解のための講習会等を開催する
- ・各事業・教室では指導者が日誌をつける(出席簿も)
- ・クラブとして賠償責任保険に加入する

《事業計画と事業評価》

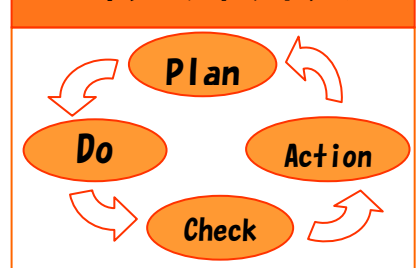
- ・組織の存在目的、将来像
- ・事業評価をすること
(ASSESSMENT: 分析→PLAN: 計画→DO: 実施→CHECK: 評価→ACTION: 修正)
口コミが最大の広報手段である。



講師: 南木恵一氏



マネジメントサイクル



総合型クラブは何をすればいいのか大変参考になる講演だったのではないのでしょうか。

今回の研修会で学んだことを各クラブでの課題解決に役立てて下さい。その中の安全対策は各クラブに共通する重要なことだと思います。今までの研修会で学んだことを活かし、スポーツ少年団・学校・体育協会・体育指導員・行政など地域全体で総合型クラブを作っていきましょう。

スポーツ教室の原価計算表・プログラム別参加者推移などのエクセルデータを頂いています。
ご希望のクラブは鳥取県体育協会 中村までご連絡ください。

鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を立ち上げました



平成 22 年 1 月 16 日（土）、第 5 回鳥取県クラブマネジャー研修会に引き続き、午後から同会場にて第 4 回鳥取県総合型クラブ連絡協議会を開催しました。県内 12 の総合型クラブ、市町村関係者 18 名が参加し、鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の設立を正式に承認いただきました。鳥取県連絡協議会を立ち上げたことにより、全国協議会への加入となります。それにより、鳥取県内でリスキマネジメント研修会等を開催できたり、全国協議会が発行するリーフレットにクラブ名が掲載されます。

役員が決定しましたのでご報告します。



会長 長谷川 和郎さん
(青谷スポーツクラブ)

県下 31 のクラブが、良い点悪い点を出し合いながら、協議会規約にある当初の目的を達成させることが私の使命だと思っています。みんなで楽しい会にしたいと思いますので、お互い力を合わせて頑張っていきましょう。ご協力よろしくお願いします。



副会長 梅木 千賀子さん
(境スポーツクラブ)

協議会が立ち上がったことを前向きに考え、会長や事務局と力を合わせ、鳥取県の地域スポーツクラブがよい方向に向かうよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



副会長 杉谷 哲治さん
(打吹スポーツクラブ)

非力ではありますが、中部地区の代表として、会長をサポートしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



役員さんを中心に皆さんで鳥取県総合型クラブを盛り上げていきましょう！！

参加者の声



南部町教育委員会
益田 良介さん

現在南部町で総合型クラブ設立に向けて検討中です。研修会に参加してみて、とても勉強になりました。グループワークなどで実践したことを参考に、クラブの運営に活かしていきたいです。



クラブマネジャー研修会を全日程終了されました



青谷スポーツクラブ
田中 弓子さん

全 5 回の研修会はとても有意義で、漠然としていたクラブ運営に対する不安が徐々に解消していきました。さらなるステップアップを目指して、アシスタントマネジャーの資格取得にチャレンジしてみたいです。



気高町
澤口 富さん

以前気高町で体育指導員をしていた時に、総合型クラブのメンバーに加わっていましたがよく理解できていませんでした。研修会に参加して気高町のために自分にも何か出来るのではないかと、という気持ちになりました。

クラブ訪問コーナー

中村です

田淵です



けたかスポーツクラブ(気高町)



バウンドテニス



1月28日(木)、鳥取市気高町トレーニングセンターにて開催の「バウンドテニス」を訪問しました。

バウンドテニスは、テニスと卓球を合わせたような競技で、幅3m・長さ10mのコートの中央に高さ50cmのネットを張り、柄の短いラケットでボールを打ち合うスポーツです。男女別・混合のダブルス・シングルス戦・チーム対抗戦と、ラリー戦といって1チーム6人で編成し、1分間でラリー回数を競い合うものがあります。

この日は男女8名の参加で、ベテランの方から初心者の方まで和気あいあいと楽しめました。

1時30分から各自準備体操をし、ペアを変わりながらの乱打を約1時間。休憩を挟んで、試合形式での練習を約1時間されているそうです。皆さんラリーが長く続きとてもお上手でした。

本田さんと、青木さんはシニアの部のダブルス戦で2年連続優勝されるほどの腕前で、練習も熱心にされているようです。毎週月曜日夜8時から宝木の勤労者体育館でも練習されていますが、参加人数が少ないのが悩みだそうです。

気高町でバウンドテニスがもっと盛んになり、総合型クラブが広まるように声をかけていきたいと言われていました。

メンバーの滝本さんは気高町の体育指導員で、今年度のクラブマネジャー研修会に参加され、総合型の必要性を改めて感じられたようです。がんばれ！けたか！！



雑談タイム



休憩時間に事務局の石井さん（12月から事務局になられた）にも参加していただき、総合型クラブについてもお話することができました。

（大幅に休憩時間が過ぎてしまい申し訳なかったです）

【出てきた問題点】

- ・リーダーとなる人がいない
- ・運営資金
- ・情報不足（助成金のこと等知りたい）

現状がお互いに理解でき、有意義な時間になりました。

現場に出向かないと気付かないことがあると改めてわかりました。

どんどん足を運んで、たくさんのクラブの方と話したいですね。

参加者の声



- ・1人で「入れて下さい。」とは言えない。人から誘われて入りました。
- ・手軽にできるスポーツとして町報に載っていたので始めました。
- ・教室のチラシを見て入りました。ハードなスポーツだけど、適当に休憩を取りながら楽しくやっています。
- ・身のこなしがよくなって、転ばなくなったし、けがをしなくなりました。
- ・気持ちが前向きになります。
- ・穏やかな人ばかりで、クラブの雰囲気が良いので続けられました。
- ・ミックスしてスポーツをすると、色々な面で相乗効果があると感じました。